

飲食店経営

2022
January **2**

2022年1月15日発行（毎月1回15日発行）第49巻第2号通巻564号

ワイド特集

アフターコロナの新機軸 2022年注目のビジネス



特集

ハンバーガー戦争勃発 人気店から探る市場のポテンシャル

トップインタビュー

「GALERA TACHIKAWA」の12人の経営者に聞く
個店の集合体だからこそ起こせる大きなうねり

「GALERA TACHIKAWA」に集いし思いが立川で紡ぎ出す外食業界の未来

今月の表紙

個店の集合体だからこそ 起こせる大きなうねり

「GALERA TACHIKAWA」に集いし 12人の思いが立川で紡ぎ出す 外食業界の未来



誕生で流れが決定的に変わっている。
GALERA TACHIKAWAを細かくキ
ーワードは「横のつながり」と「循環」だ。同施設の物語は、株式会社
ミート・コンパニオン代表取締役社
長の阿部昌史氏が前施設の跡地を取
得し、立川の街の将来を描いたこと
から始まった。そこに株式会社大野
開発代表取締役の大野芳裕氏と、株
式会社MOTHERS代表取締役の保村
良豪氏の気持ちが加わり、プロジェ
クトの勢いが加速。そして、その思
いとビジョンに共感する飲食経営者
が集い、飲食店の力で街に新たな魅
力を作り出し、大きなムーブメント
になった。

同施設は立川の中でも人通りの少
ない、街の影となっていた場所にあ
る。そこに活気が生まれたことで街
にも新たな人の流れが生まれ、現在
周辺エリアを巻き込んだ大きなうね
りになろうとしている。

GALERA TACHIKAWAの成り立ち
は、外食業界の再生の物語であり、
未来への希望への物語だといっても
過言ではない。今回、同施設の本質
に迫る3本のインタビューを掲載す
る。その可能性の大きさをぜひ感じ
取ってほしい。



コロナ禍からどのようにして会社
を立て直していけばいいのだろうか。
また、コロナ禍を経て、どこに舵を
切っていけばいいのだろうか。コロ
ナ禍は外食業界に大きなダメージを
与えたばかりか、現在も解決が難し
い大きな命題を突きつけている。

それは地方も変わらない。観光客
がいなくなったのはもちろん、外出
自粛の要請が解除された今も第八波
への警戒感から客足の戻りは鈍い。
匿名性の高い都市部よりも、互いが
顔見知りの地方の方が、その傾向が
強いとも聞く。とはいえ、外食産業
は観光や雇用の核だ。地方経済の要
を担っているからこそ、支援を考え
ている地方自治体も多いだろう。そ
のとき「GALERA TACHIKAWA」が
一つにモデルになるのは間違いない。

GALERA TACHIKAWAは202
1年12月に東京都立川市にできた、
集客力のある個店が集まったフー
ドマーケットだ。そもそも立川市
は東京都の西側の多摩エリアに位
置する都市で人口こそ18万人に届
かない規模だが、その存在感は高
い。近年、急速な再開発が進み、
東京西部の主要都市になりつつあ
る。そんな立川の飲食店もコロナ
禍では大きなダメージを受けた。

しかし、GALERA TACHIKAWAの